

退職者の皆様と語る会

国労水戸

国労水戸地方本部
水戸市中央1-1-11
ENYビル2F
029-221-4008
発行責任者 塚原良雄
編集責任者 坂下 司

長年のお勤めご苦労様です



退職者と語る会は、4月23日に水戸京成ホテルで行われた。塙副委員長の司会で塚原委員長挨拶、来賓挨拶、茨城支部益子委員長の乾杯で懇談が行われました。今年度35名の退職者で10名の方が参加して頂きました。

委員長あいさつ



国労は70年の節目を迎え、退職された皆様が入社した当時、マルセイ闘争が終わり、スト権スト、損害賠償訴訟 臨調改革で国鉄攻撃がかけられている時期でした。不採用問題は解決の山場を繰り返し、4党合意から和解解決しました。JRが30年を迎え、年金問題で60才を越えて働き、エルダー制度で延長する人身体や家族の諸事情により退職する人と様々です。現職と退職の強化をして頂き、健康に留意し、第2の人生を有意義に。これまでのご尽力に感謝を述べ挨拶とします。

来賓あいさつ

東日本本部 菊池委員長

国鉄分割・民営化をめぐる闘いを通して、職場差別の一括和解、昇進事件和解を求める議論、取り組みを行い、組織強化拡大に全力で挙げてきた。地域、政治の中で知識経験を生かした教えを。

交通共済 松井本部長

退職された方の総合共済の確認。地震共済の優位性を知ってほしい。

退職者の会 関事務長

NTT、たばこなどと比較して鉄道年金は特別付加がついていない。社会保障を守る力を貸して欲しい。

謝辞 ～退職者から決意とお礼～

広域配転で不安があったが国労の仲間が暖かく迎えてくれた。

スト権ストを分らない中でやった記憶がある。エルダーで会社にいると情報が入らない。

エルダーでも組織拡大で積極的に話すことが大事。エルダーにいるが労働条件が悪い。年休を流す。体が慣れない。

震災の時、家に来てくれた国労の暖かさを感じた。エルダーとして勤めたが労基法は守らない 劣悪な労働条件で途中で辞めた。

エルダーとして国労運動を強化する任務にある。

JESSの若手社員が組合に入らない。国労に入れる条件にある。駅委託化が増えで可能性のある職場です。

国労水戸地方

